

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	59	学校名	横須賀高等学校	校長名	河西 伸之
------	----	-----	---------	-----	-------

1 スクール・ミッション

校訓「明朗、誠実、敬愛」のもと、地域に根ざす高校として、多様な学びや地域とのつながりを通して、自ら生き方を選んで社会を拓くことのできる、信頼される人の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
【横高から未来へ】	【横高でのまなび】	【横高で共に歩む人】
<p>①豊かな人間性： 明るく、誠実で、相手を大切にでき、「グッドマナー」を備えた、信頼される人である。</p> <p>②納得の進路実現： 確かな力を備え、「未見の我」に出会い、自ら生き方を選ぶことができる。</p> <p>③社会を担う自覚： 地域の一員として、他者と協力しながら、社会に貢献する姿勢がある。</p>	<p>①自律と自立を育む対話： 対話を通じて、生徒が自ら考えて表現する時間を大切にし、主体的に動く力を養う。</p> <p>②「わかる」を支える授業： ICTを効果的に用い、個に寄り添った指導で基礎学力を確実に定着させる。</p> <p>③地域を教室にする学び： 地域との接点を作り、実社会の課題を自分事と捉えて将来を考える機会をつくる。</p>	<p>①互いへの敬意： ルールを守り、多様な仲間を尊重して、穏やかにコミュニケーションができる。</p> <p>②学びへの意欲： 中学校までの学習内容を大切にし、高校での授業に粘り強く取り組める。</p> <p>③前向きな姿勢： 学校生活、行事、部活動、地域での活動等に、自分なりの目的を持って挑戦できる。</p>

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 【まなび】 自律と自立を支える確かな学力の定着

「わかる授業」を核に、ICTを活用し、生徒が自律的に学ぶ力を養う。

イ 【こころ】 「グッドマナー」と豊かな人間性

「グッドマナー」を身につけ、学校生活、行事、部活動等を通じて自尊感情を高める。

ウ 【つながり】 「未見の我」と出会い、社会（よのなか）と結ばれ、地域とともに未来を拓く志

学びを通して自己を発見し、地域とのつながりや読書活動の中で、社会（よのなか）の一員としての自覚と、納得の進路選択を行う。

エ 【安心】 安全な学校で安心を提供し、個に寄り添う多様な学びの保障

安全安心な学校を目指し（防災対策、交通指導、いじめ対応、等）、ユニバーサルデザイン（UD）の環境整備を通して、誰にも寄り添える学びの場を構築する。

オ 【基盤】 「チーム横高」による組織力の向上

教職員の専門性向上に取り組み、物品や施設の確かな管理、効果的な業務精選を通して業務改善を行い、生徒と向き合う基盤を確かなものにする。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当 部署
ア 【まなび】	「わかる授業」の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・目標が明確な授業（当該時間や単元の目標を明示する、等） ・本校生徒に最適化され、工夫された授業（対話がある、関心を持てる、参加できる、楽しめる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業で「わかった」「できた」と思えた」と答える生徒 80%以上 ・「授業内容が「身に付いた」と答える生徒 80%以上 ・「学習の経過や成果を、ノート、ワークシート、端末などに記録し振り返る習慣がある」と答える生徒 80%以上 ・「「あさかつ」を有効活用して学びを進めた」と答える生徒 80%以上 ・「ICTを効果的に活用して学んでいる」と答える生徒 80%以上 ・「目的意識を持って学んでいる（興味関心、授業のねらい、進路実現等）」と答える生徒 80%以上 ・「学びの基礎診断（基礎力診断テスト）」の「基礎力養成レベル」層の前回比減 	全教科 学習支 援課
	自律的な学習とICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学習歴を生徒が残す指導 ・目的意識を持った学びに導く指導 ・「あさかつ」の充実 ・ICTの効果的な活用（教師の教具教材、生徒のBYODと教材） 		
	目標達成の実感	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技術の定着を実感させる工夫（こまめな小テスト等の実施） ・学習動画「すらら」の活用 ・外部の尺度の有効活用（「学びの基礎診断」、各種検定、等） 		
イ 【いこころ】	「グッドマナー横高」を通した規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・「グッドマナー横高」の推進（「グッドマナー度チェック（GMC：「グッドマナー横高」の達成度尺度）の活用」 ・率先垂範（笑顔、挨拶、言葉遣い、時間管理、等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶がしっかりできる」と答える生徒 80%以上 ・「身だしなみがしっかりしている」と答える生徒 80%以上 ・「時間を守れる」と答える生徒 80%以上 	全学年 生徒支 援課 事務室
	生徒主体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の行事運営の支援 ・部活動での前向きな取り組み支援 ・部活動に所属していない生徒の活躍の場の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・「スマートフォン、SNSを適切に使っている」と答える生徒 80%以上 ・「相手を大切にし、傷つけないよう気をつけている」と答える生徒 80%以上 	
	生徒の変容を捉えた価値付け指導	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を持って生活している生徒の称揚 ・成長や変化を見せた生徒への適時の声掛け ・面接週間の活用と日常機会面接場面の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・「行事や部活動等を通じて、達成感を感じる」と答える生徒 80%以上 ・「学校には自分の居場所がある」と答える生徒 80%以上 ・「自分は学校で一人の人間として大切にされている」と答える生徒 100% 	
ウ 【つながり】	自己理解と自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解と社会の理解を進める機会の充実 ・進路研究機会の充実 ・職業観と勤労観の系統的な育成 ・「横須賀手帳」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路に関する十分な情報や体験の機会を得ている」と答える生徒 80%以上 ・「進学や仕事、生き方についてしっかり考える機会がある」と答える生徒 80%以上 	全学年 キャリア支 援課 総務 図 書課 管理職 事務室
	地域を教室にする学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携活動の推進（幼小中間交流、キャリアコネクト、インターンシップ、総探、横須賀レガシー、等） ・地域社会の一員である自覚の向上促進 ・学校運営協議会との協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分なりに納得しながら、進路について考え、選ぶようとしている」と答える生徒 80%以上 ・「「ヨコスカ手帳」を使い、予定管理、記録、振り返り等をしている」と答える生徒 80%以上 	

様式第1号

	<p>社会と結ぶ読書活動と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進（朝読書、図書だより、図書館利用、等） ・自分の考えを多くの人に発信する機会の確保（授業、横高弁論大会、等） ・豊かな情報発信（学校HP、SNS、各種の便り、等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「異年齢や地域とのつながりから学んでいる」と答える生徒 80%以上 ・「将来は、自分の生きる場所に貢献したい」と答える生徒 80%以上 ・「読書を通して人生が豊かになると実感することがある」と答える生徒 80%以上 ・「学校からの情報発信により、教育活動の理解が進んでいる」と答える保護者 80%以上 	
エ 【安心】	<p>安全意識と人権意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い人権意識による教育活動の実践 ・施設管理による安全確保（確実な点検と対処） ・防災教育による安全確保（防災訓練等） ・いじめ、暴力、等の未然防止と対処（人権教育、ネットモラル指導、等） ・交通事故の未然防止と対処（交通指導、立哨指導、等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「施設面で学校生活は安全である」と答える生徒 80%以上 ・「防災面で学校は万が一に備えている（情報、訓練、物品）」と答える生徒 80%以上 ・「交通安全について、十分な情報を得ている（自転車通学、送迎等）」と答える生徒 80%以上 ・「授業内外で、丁寧な指導や配慮がなされている」と答える生徒 80%以上 ・「悩みがあるとき、相談できる先生がいる/相談できる場所がある」と答える生徒 80%以上 ・「学校では安心して、自分らしく過ごせている」と答える生徒 80%以上 ・ゼロ達成（重大ないじめ件数、重大な交通事故件数） 	全職員
	<p>専門的知見による個別支援とUDの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の生徒への適切な理解 ・特別支援教育の知見の研修と実践 ・外部専門家との連携（心理、医療、公的機関、等） ・ケース会議等の実施による組織的支援 ・UD視点での授業実践と学校（学習）環境作り 		
	<p>援助希求力の育成と相談体制の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒ひとりひとりへの声掛けの充実 ・自分で心身の健康管理ができる力の育成 ・SST講座の実施 ・教育相談室の効果的な運営 		
オ 【基盤】	<p>「チーム横高」の成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修の充実 ・情報共有機会（日常会話、会議）の充実による協働性の向上 ・心理的安全性の確保 ・PDCAとOODAの適切な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「研鑽と修養に十分に努めた」と答える職員 100%。 ・「報連相に努め、協力して業務を進めた」と答える職員 100% ・「ワークライフバランス改善に努力している」と答える職員 100%。 ・「チームとしての業務改善に、自らも参画している」と答える職員 100% ・「「風通し」のよい職場だ」と実感する職員 100% ・「職場で安心して、自分らしく過ごせている」と答える職員 100%。 ・最終退庁時間 8:00（週平均）を遵 	全職員
	<p>業務改善と働き方の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善の推進（やめる、へらす、かえる、じゅうじつさせる） ・適切なワークライフバランス（最終退庁時間の遵守、時間外勤務時間削減） ・部活動業務の適正化（内容精選、統廃合検討、外部からの支援、等） 		

様式第1号

	<p>コンプライアンスと適切な業務執行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「風通し」のよい職場作り ・コンプライアンス徹底のための研修実施 ・プロ意識に基づいた余裕を持った業務執行(報連相、協働、等) 	<p>守している職員 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務月 45 時間超者の面談率 100% ・ゼロ達成 (不祥事、体罰、交通事故。監査と検査の注意) 	
--	-------------------------	--	--	--